

科目名	情報系資格対策講座 1							年度	2024
英語科目名	Information System Qualification Course 1							学期	後期
学科・学年	A I システム科 1 年次	必/選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	伊藤 希慧		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア	

**【科目の目的】**

- ・情報活用検定2級を全員が取得する
- ・情報活用検定2級の出題形式に慣れる
- ・コンピュータテクノロジーやビジネス基礎の講義内での理解度が低い単元の補足を行い、理解を確実なものにする
- ・AIシステム科のカリキュラム上実施しないネットワーク等のITの基礎知識を理解する

**【科目の概要】**

習熟度を測り、能力を証明するために情報活用検定2級の合格を目標とする。情報社会で活躍できる実践的スキル習得のため、情報の理念を理解し、経営戦略とシステム戦略の基礎知識（コーポレートガバナンス QC PPMなどのマーケティング分析 CRM SFAなど）、プロジェクトマネジメントに関する基礎知識（PMBOK WBS SLA インシデント管理 システム開発技法など）、パソコンの基礎知識（コンピュータの種類、動作原理、周辺機器、インタフェース、環境設定など）、インターネットの基礎知識（ネットワークポロジ 利用形態 WebブラウザやEメールソフトの活用など）、アプリケーションソフトの基礎知識（表計算ソフト プレゼンテーションソフト）を身に付けることを目標とする。

**【到達目標】**

- A, 経営戦略・システム戦略/プロジェクトマネジメントの基礎が理解でき、説明できる
- B, データ構造・情報表現/問題解決手順の基礎が理解でき、説明できる
- C, コンピュータ/インターネットの基礎が理解でき、説明できる
- D, 表計算ソフト(Excel)の関数を理解でき、調べずに自分で書くことができる
- E, 情報活用検定2級の試験に合格する

**【授業の注意点】**

資格試験は、講義時間内の学習だけでは合格困難であり、学生自身が主体的に自宅学習を進めることが必要。  
授業時数の4分の3以上出席しない者はD評価となる。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	会社経営に関する基礎知識を説明することができる	会社経営に関する基礎知識を理解することができる	会社経営に関する基礎知識を概ね理解することができる	会社経営に関する基礎知識をあまり理解できない	会社経営に関する基礎知識を全く理解できない
到達目標 B	データを読み取りながら問題を解決し、説明することができる	データを読み取りながら問題を解決することができる	データを読み取りながら概ね問題を解決することができる	データを読み取ることがあまりできない	データを読み取ることができない
到達目標 C	コンピュータやインターネットの基礎知識を説明できる	コンピュータやインターネットの基礎知識を理解している	コンピュータやインターネットの基礎知識を概ね理解している	コンピュータやインターネットの仕組みがあまり理解できない	コンピュータやインターネットの仕組みが全く理解できない
到達目標 D	VLOOKUP等の応用的な関数を調べずに書くことができる	VLOOKUP等応用的な関数を調べながら書くことができる	SUM/IF等の簡単な関数を調べながら書くことができる	Excelの関数のうち、SUM等の簡単なものが理解できる	Excelの関数が全く理解できない
到達目標 E	情報活用検定2級に合格できる	情報活用検定2級の点数が60点以上	情報活用検定2級の点数が50点以上	情報活用検定2級の点数が40点以上	情報活用検定2級の点数が40点未満

**【教科書】**

「ITワールド」（インフォテックサーブ）/ IT戦略とマネジメント（インフォテック・サーブ）

**【参考資料】**

情報活用検定2級の過去問題、授業内配布プリント等

**【成績の評価方法・評価基準】**

試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する  
小テスト 30% 授業内容の理解度を確認するために実施する  
平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		資格対策講座1			年度	2024	
英語表記		Certification Exams 1			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	経営戦略	経営戦略で使用する用語の意味を理解する	1	経営理念、株主	経営理念や会社存続のための知識を習得する	2	
			2	法務	著作権、個人情報等の知識を習得する		
			3	分析	SWOT分析やPPMなどの分析手法を習得する		
2	システム戦略	システム戦略で使用する用語の意味を理解する	1	業務プロセス	業務プロセスを習得する	2	
			2	業務改善	業務改善方法や用語の意味を理解する		
			3	ソリューション	様々なクラウドサービスの違いを習得する		
3	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの用語を理解する	1	プロジェクト	プロジェクトとは何かを習得する	2	
			2	監査、内部統制	監査や内部統制の方法を習得する		
			3	用語理解	PMBOKやPDCAサイクル等の意味を理解する		
4	プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメントの手法を理解する	1	スケジュール管理	WBS/アローダイアグラム等を習得する	2	
			2	コスト管理	工数管理の考え方を習得する		
			3	リスク管理	リスクに対する対策を習得する		
5	データ構造情報表現	データ構造や情報表現を理解する	1	基数変換	2進数⇄10進数の変換ができるようになる	2	
			2	論理演算	AND, OR, NAND, NOR, XOR, NOT等を習得する		
			3	アルゴリズム	簡単なフローチャートを理解できる		
6	問題解決手順	問題解決手順を理解し、問題解決できるようにする	1	長文理解	長文から問題の意図を読み取れるようになる	2	
			2	読み取り	複数のデータから必要な情報を取得できる		
			3	問題解決	長文とデータから問題を解決できる		
7	コンピュータ	コンピュータの用語の意味を理解する(ハードウェア)	1	デバイス	コンピュータが使用されているデバイスを知る	2	
			2	五大装置、CPU	コンピュータの基本的な動きを理解する		
			3	入出力IF	入出力IFの規格を習得する		
8	コンピュータ	コンピュータの用語の意味を理解する(ソフトウェア)	1	OS	OSの大まかな動きを習得する	2	
			2	ファイル管理	パスやディレクトリを理解する		
			3	アプリケーション	様々なアプリケーションを知る		
9	ネットワーク	ネットワークの用語の意味を理解する	1	周辺機器	ネットワークの周辺機器を習得する	2	
			2	プロトコル	POP3やHTTPなど基礎的なプロトコルを習得する		
			3	IPアドレス	IPアドレスやMACアドレスを習得する		
10	情報活用検定3級の過去問題	実力理解	1	過去問を解く	実際の過去問題を解き、流れをつかむ	1	
			2	採点	採点し、自分の実力を知る		
			3	復習	間違った問題や範囲を復習する		
11	情報活用検定3級の資格試験	資格取得	1	資格試験	情報活用検定3級を取得することができる	1	
12	表計算ソフト	基礎的な関数を理解する	1	絶対参照	絶対参照を理解し、実践的に使えるようになる	2	
			2	相対参照	絶対参照と相対参照の違いを理解する		
			3	四則演算、SUM等	関数を使用した簡単な計算ができるようになる		
13	表計算ソフト	応用的な関数を理解する	1	IF	IF関数を実践的に使えるようになる	2	
			2	SUMIF、COUNTIF等	SUMIF、COUNTIFを実践的に使えるようになる		
			3	VLOOKUP	VLOOKUPを実践的に使えるようになる		
14	情報活用検定2級の過去問題	実力理解	1	過去問を解く	実際の過去問題を解き、流れをつかむ	1	
			2	採点	採点し、自分の実力を知る		
			3	復習	間違った問題や範囲を復習する		
15	情報活用検定2級の資格試験	資格取得	1	資格試験	情報活用検定2級を取得することができる	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等